

令和4年度目標指標【54項目】

注「流域市町」とは、四万十川流域のうち、四万十川条例第2条第4項で定める四万十市、中土佐町、橋原町、津野町、四万十町をいう。

住民が主体となる項目【26項目】	行政が主体となる項目【28項目】
1 生態系及び景観の保全 ：本来、自然が持つ機能を十分に生かしながら、多様な生態系や景観を重視した四万十川の保全を図る。【18項目】	
(1) 四万十川の水量が豊かで、清流が保たれ、生態系が保全されていること。【10項目】	
①清流基準の達成度（清流度、水生生物） ②生活排水の浄化率（汚水処理人口普及率） ③四万十川一斉清掃の参加率 ④水切り袋の普及率	①清流基準の達成度（窒素、りん） ②生活排水の浄化率（汚水処理人口普及率） ③環境に配慮した砂防・治山ダム数 ④四万十川（共同・大正）における流況 ⑤四万十川における河床高の状況 ⑥四万十川における魚類・底生動物の確認種数
(2) 森林、農地及び草草が適切に管理され、環境に配慮した経営が行われていること。【8項目】	
①森林認証の認証状況（認証団体数、認証面積） ②環境保全型農業の実施状況（化学肥料等に頼らない事業者数、農薬低減等に取り組んでいる栽培面積） ③リサイクル肥料の年間生産状況 ④耕作放棄地の面積	①除・間伐の面積 ②混交林の面積 ③環境先進企業との官民協働の環境保全（協働の森づくり、川づくり事業等の協定締結件数） ④有害鳥獣の捕獲数
2 生活・文化・歴史の豊かさの確保 ：流域の人々の生活・文化・歴史の豊かさの確保と流域を訪れる人々が感じる魅力の向上に努める。【36項目】	
(1) 住民の安全かつ快適な生活が保たれていること。【5項目】	
①情報通信網の普及率（インターネット、携帯電話） ②生活満足度	①ネットワーク道路の安全・快適度（道路改良率、道路情報板等の整備状況、交通事故の発生日数） ②地元中高卒者の地元就職率 ③流域市町の子どもの人数
(2) 四万十川が子どもの遊び場として活用されていること。【7項目】	
①川で遊んだ子どもの割合 ②カヌー、SUP等を体験したことのある子どもの割合 ③川で魚やエビなどを捕ったことのある子どもの割合	①子どもが自由に魚を釣れる場所数 ②水生生物調査の実施校の割合 ③水質調査の実施校の割合 ④自然体験型修学旅行の実施校数
(3) 四万十川を生かした産業が活性化し、持続的に発展していること。【5項目】	
①農家民宿等の軒数 ②四万十ブランド認証の認証件数 ③地産の状況（地元農産物の販売額、入漁券（日釣券）の販売額）	①漁獲量（アユ、ウナギ、アオノリ、テナガエビ） ②公共事業における木材の利用状況（県有施設の木造化及び内装の木質化率、公共工事での木材利用量）
(4) 地域間交流が活発に行われていること。また、その活動が住民の生活又は流域の生態系に負荷を生じさせていないこと。【5項目】	
①環境保全に取り組むNPO・ボランティアの団体数 ②グリーンツーリズムの交流人口	①環境活動リーダー・インタープリター等の人数 ②交流人口の状況（イベント等の入込客数、観光施設等の利用者数、道の駅等の利用者数） ③流域市町の人口（流域市町の人口、県外から流域市町への移住者数）
(5) 文化・歴史を保全活用していること。【9項目】	
①伝統祭事の実施状況 ②伝統漁法の実施状況（許可件数、舟大工の人数、川漁師の人数） ③博物館・資料館の入場者数 ④シンボリック伝統家屋等	①適正に管理保存された沈下橋数 ②伝統漁具の保存 ③有形・無形民俗文化財数、史跡・名勝・天然記念物数 ④重要文化的景観選定地区における重要構成要素の箇所数 ⑤文化財等の活用状況
(6) 環境に負荷をかけないライフスタイルが保たれていること。【5項目】	
①エコカー（低公害車）の保有台数 ②ゴミの排出状況（住民1人当たりのゴミの量、ゴミのリサイクル率） ③生ゴミのたい肥化への取組状況 ④レジ袋削減に「みんなマイバッグ」の取組	①新エネルギーに関する自家発電設備の設置率